

科目ナンバリング									
授業科目名 <英訳>		日本の経済 Economy of Japan				担当者所属 職名・氏名		経済学研究科 教授 渡邊 純子	
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	日本理解			使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	火4		配当学年	1回生	対象学生	留学生
【授業の概要・目的】									
戦前から戦後までの日本経済の歴史を概観する。戦前と戦後の相違点や共通点がわかるように、できるだけ長期に連続したデータを用いながら考察する。まず各時代の全体像を概観し、次に各論でいくつかのテーマをとりあげ、戦前～戦後の変化を捉える。									
【到達目標】									
戦前・戦後の日本経済に関する基礎知識を得るとともに、現代日本経済の到達点や諸問題について歴史的かつ幅広い視角から考察する能力を養う。									
【授業計画と内容】									
各回の詳細な計画・内容は、初回のガイダンス時に配布する。									
I. 概説 日本経済の軌跡：戦前～戦後 1. 幕末・維新时期～明治期（1860s-1910s） 2. 戦間期～戦時期（1920s-1940s） 3. 戦後復興期～高度成長期（1940s-1960s） 4. 低成長期～安定成長期（1970s-1980s） 5. バブル期～平成不況期（1980s-1990s） 6. 2000年代以降 II. 各論 1. 外国部門：産業・貿易構造 国際収支 2. 政府部門：経済政策、財政 3. 企業部門：企業システム、金融システム 4. 家計部門：労働市場、労使関係、家計の動向など									
【履修要件】									
日本語・日本文化研修留学生専用科目									
特にないが、日本の近現代史、日本経済に関する入門書を自習する、もしくは、他の授業などで習得していることが望ましい。									
【成績評価の方法・観点】									
出席、ディスカッションへの貢献、授業内に指示するレポート（数回）により総合的に評価する。									
----- 日本の経済(2)へ続く -----									

日本の経済(2)

[教科書]

三和良一 『概説日本経済史 近現代[第3版]』（東京大学出版会）
上記テキストのほか、講義資料を配布する（KULASISから受講者がダウンロードする方式：詳しくは初回授業で説明する）

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

テキストや講義資料に事前に目を通し、予習すること。復習も同様にテキストと講義資料のほか、参考文献なども含めて幅広く学習すること

[その他（オフィスアワー等）]

e-mailなどで事前にアポイントメントをとって下さい。

[主要授業科目（学部・学科名）]